

第9回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

- 1 日 時 令和5年10月4日(水) 13時15分～16時45分
- 2 場 所 入間市役所 B棟 5階 第4委員会室
- 3 出席者 委員長 濱川敦
委 員 岩田正博、浅見泰志、関谷佳代子、高梨雅樹、小林由利、田中祥弘
所管課 地域振興課長 須田英樹、主査 齊藤正文
事務局 デジタル行政推進課長 山本優、副主幹 福島徹志、主査 佐々木雄基
- 4 欠席者 なし
- 5 対象施設 入間市産業文化センター
- 6 議 事

議 題

(1) 申し込み団体によるプレゼンテーションについて

- ① [REDACTED]
- ② 株式会社ケイミックスパブリックビジネス
- ③ [REDACTED]

(2) 委員からの講評

(3) 所管課(地域振興課)からの意見・感想

(1) 申し込み団体によるプレゼンテーションについて

プレゼンに先立ち事務局から、次の説明を行った。

応募者の資格要件のうち暴力団関係者の有無について、事務局において県警に照会したところ、応募のあった団体について、「該当は無い」との回答を得ている。

プレゼンについて、1団体あたり50分とする。時間配分は、プレゼン25分、質疑応答25分とする。仮にプレゼンが20分で終了した場合には、質疑応答を5分増やし、30分とする。質疑応答が早く終了した場合、50分に達していなくてもその時点で終了とする。

採点等については、5～1点の5段階で採点を行い、審査票は、10月6日までにデジタル行政推進課へ提出願いたい。

① [REDACTED]

応募書類を基に入間市産業文化センターに関する提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった。

委 員：冒頭で説明のあった職員の着服については、他県でも同様の事件があったなかで残念だが、対策を取っているとのことなのでその点についてはしっかりとお願いしたい。産業文化センターは元々稼働率の高い施設である。自主事業等色々ご提案いただいているが、自主事業が入ると利用者の利用が難しくなる場合もある。その点で、事業実施にあたっての工夫があれば教えていただきたい。

応募者：実際、当グループで管理運営をしているの使用率は9割を超え、利用者の活動を圧迫しない事業組みが求められている。

10年以上の管理運営により利用者の活動の傾向等も統計としてデータを持っている。これを踏まえ、事業数等を調整し、実際に利用する場合には利用者としてしっかり調整をして実施をするという段取りを組んでおり、この経験は生きると考える。自主事業は指定管理者が優先的に入れられることから、自治体によっては利用者の活動を圧迫している案件もあると聞かすが、市民の利用を一番に考え、年間スケジュールと調整し市民ニーズを把握しながら、少しずつ自主事業を増やし、利用率を上げていきたいと考えている。

委員：2点伺う。1点目は、指定期間最終年度に大規模改修等を予定している。老朽化が進んでいる施設であるため、突発的に設備の不具合等が生じる場合もある。市民サービスの低下にならないような工夫について考えがあればお聞きしたい。2点目として、施設の維持管理業務と、自主事業等の運営業務に大きく分かれるが、何に最も力を入れて取り組みたいと考えているか。

応募者：1点目の突発的な不具合について、修繕費は上限額が決まっているが、市が予算措置の関係で修繕ができない場合に状況に応じて一次対応をするなど、民間企業のレスポンスの良さ、融通が利くところを生かして所管課と協議しながら対応していきたいと考えている。2点目の指定管理で大切にしたいことについては、地元の方を積極的に雇用し、施設の運営に携わることで間接的に市の運営にも関わることであると考え。市民に市へ愛着を持っていただくきっかけとなる事業であれば良いと考える。また、市民会館が閉鎖している中で、文化芸術の波を損なわないように配慮することも大切にしていきたい。施設の維持管理についても、不具合に素早く対応し、大規模修繕になる前に小さな修繕を行うなど利用者の利用を止めないよう運営していきたい。

委員：2点伺う。1点目として、産業文化センターのホールの席数は400席程度で、興行ベースでいうと中々採算が取れないと聞く。また、稼働率も高い。今回指定管理者に応募していただいた理由についてお伺いしたい。2点目として、指定管理料の上限額を年額約500万円削減してご提案いただいております。プレゼンでも修繕の内製化や様々な経費削減等について説明があったが、過去の事例等を踏まえ、実現が可能な理由等について具体的に伺いたい。

応募者：1点目の応募理由については、現地説明会で今後改修工事が決まっていると伺いしたが、確かに古いものの、そうとは思えないほどしっかりと整備されており、今後施設を管理していく上でも突発的にお金がかかることが少ないのではと感じたことがきっかけの一つである。大規模ホールであると舞台関係を専門とする会社には敵わないが、400人規模であれば他の自治体で実績があり、十分に力を発揮できると感じた。2点目の指定管理料上限額からの削減については、仕様書

に基づきこの規模の施設で必要な業務を当てはめていき、私たちであればどれくらいで管理できるかを考えた。シフトについても、実際の人数や時給を当てはめている。工夫して削減したというよりも、これまでの経験から必要な経費がある程度わかり、そこに人件費の高騰等様々な要因も考慮した上で十分に可能な額としている。

委員：応募していただいた理由の規模感というのは、私たちがネックに思っている部分でプラスに評価していただいて嬉しく思う。また、指定管理料についても心強く思った。

応募者：指定管理料上限額からの削減の要因について補足すると、職員の配置や修繕等の部分で、委託をせずに直営でできるものは直営で行うという点も削減につながったのではと思う。

委員：収支計画書について、コンサートや落語会等の自主事業の出演料等はどこに計上されているか。

応募者：自主事業は収支でプラスを見込んでおり、そのプラス分について収支計画書の収入として計上しており、支出については計上していない。

委員：緊急時の対応と、利用者への対応について詳しくお伺いしたい。

応募者：緊急時の対応については、緊急事態や傷病者の発生に対し、教育等により事前準備をしている。具体的には、所管課、消防署、病院、警備会社及び設備保守業者等の緊急連絡網を事前に整備し、迅速に関係機関と報告連絡ができる体制としている。また、職員向けに研修を実施し、AEDの取扱方法、心肺蘇生法、避難誘導等の研修を行っている。また、他市において15年近く指定管理をする中で蓄積したヒヤリハットを事例集として現場に配付している。利用者への対応については、融通が利かれないと思われる場合があるかもしれないが、人によって対応を変えるのではなく、不公平のない対応・接客が一番だと考えている。

委員：2点伺う。1点目として、令和10年度に大規模修繕で休館が予定されているが、その間の職員の対応はどのように考えているか。2点目として、パートタイムの職員の平均的な時給を教えてください。

応募者：1点目の休館時については、XXXXXXXXXXで抱えている近隣の施設、例えば「XXXXXXXXXX」や「XXXXXXXXXX」を紹介させていただき、一時的にそちらに行っていただき、改修工事が終わった後に、戻るか残るかについて選択していただく。休館時に退職された方については、改修工事が終わった段階で優先的に声をかけさせていただく。「XXXXXXXXXX」の休館時にもこの対応で戻って来られた方もおり、同様の対応で進めていけると思う。2点目のパート職員の時給については、確定はしていないが、基本的には埼玉県の最低賃金については遵守する。今回の指定管理料の積算にあたっては、1,500円まで最低賃金が上がっても大丈夫なようにしている。求人をして応募者の状況や、経験者の時給

を上げるなど、幅広く対応をしていきたい。

委員：最低賃金の1,028円で応募者が集まるかは難しいと思う。休館時に現場の職員は別の施設に移動するということだが、施設長は休館でも産業文化センターで勤務するのか。あるいは本社で勤務するのか。

応募者：施設長については、休館時に施設にいる必要があるかによると思うので、市と調整をして検討したい。施設長等社員についても、パート職員と同様に他の現場に行く場合もある。例えば、指定管理をしている「XXXXXXXXXX」は休業中だが、社会教育主事には近隣の体育施設の副所長になっていただいたり、和紙の職人については国の補助金を活用して「地域活性化起業人」制度でXXXXXXXXXXに派遣したりしている。様々な制度を模索し、生活に困らないことを一番に考えて対応をする。

委員長：3点伺う。プレゼン資料22、23ページによると、XXXXXXXXXXが総務系でXXXXXXXXXXが企画系の仕事をする役割になっている。として指定管理を多くしているが、基本的にはこのような役割分担か。2点目として、自主事業の収入は毎年度約340万円とあるが、どのように算出されているのか。3点目として、自由提案で「XXXXXXXXXX」システムを導入することとなっていたが、指定管理者になった場合は速やかに導入されるのか。

応募者：1点目の役割分担については施設ごとにより異なる。どちらも、施設運営、設備管理、企画も可能である。2点目の自主事業の収入については、利用者数の上限の70%が来た場合の利用料金を計上しており、広告効果等も踏まえると妥当な額であると考えます。3点目の「XXXXXXXXXX」については、他自治体で実際に導入しようとして動いているものであり、指定管理者として議会承認があった後にはすぐに導入に向けて準備を進める。

委員長：産業文化センターの場合は、施設長がXXXXXXXXXXで副施設長がということか。

応募者：その通りである。

② 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

応募書類を基に入間市産業文化センターに関する提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった。

委員：プレゼンで自主事業をたくさんご紹介いただき、収支計画書からも自主事業収入963万円と多数の事業を行うことがわかった。一方で、産業文化センターは利用率の高い施設である。利用者が利用の申込みをするときに自主事業で既に埋まっている状態が懸念されるが、この点も含めて自主事業運営の工夫があればお伺いしたい。また、収支計画書の支出の管理運営費は他の応募者と比較すると1,000万円近く安いですが、この理由を教えてください。

応募者：1点目の自主事業運営の工夫について、土日祝日は市民の利用頻度が高いと思わ

れることから、自主事業として土日祝日に実施する鑑賞事業は年間4つのみとしている。これは市民会館が現在ない中で、観劇やコンサートの市民ニーズに応じるため提案するものである。それ以外の共催事業については、高齢者や小さな子どもを子育て中の家庭等、比較的平日に自由に動ける機会がある方々もいることから、平日の開催としている。現在他の自治体で運営している施設でも落語やコンサートは平日昼間に実施しており、この実績からも市民の利用を妨げないような提案であると考えている。2点目の管理運営の支出について、初年度が少し高いのは宣伝広告費として、ホームページやパンフレットの作成費を初年度に計上していることからである。管理運営費が他の応募者と比較して安くなっているということだが、収支計画書積算内訳の「その他 管理費」として、労務管理・給与計算、経理処理、教育訓練、Pマーク関連業務等を計上しており、おそらく他の応募者と計上方法が異なっているためだと思われる。

委員：1点目として、例えばボランティアの会等、運営面における市民参加の仕組みについて考えがあればお伺いしたい。2点目として、事業計画書20ページに「助成金・補助金の獲得」とあるが、これについては収支計画書に含まれているか。含まれていなければさらに収支がプラスになるということか。3点目として、施設維持の修繕については、本部のバックアップ機能が考えられると感じたが、修繕の内製化について考えている部分があればお伺いしたい。

応募者：1点目の市民参加については、生涯学習事業の中で、学び合いのものであったり、市民を巻き込んだ形であったり、市民が気軽に足を運び参画していただけるようなものを計画している。他の施設でも実際あるが、場内案内等、講演の運営のボランティアの方が地域にいればぜひ協力を願いたい。このような形でも市民参加していただけたら大変助かる。2点目の助成金等についてはご提案した収支計画書には含まれていない。助成金等は事業の内容により申請可能なものが毎年変わるためであり、今回指定管理者として選定された場合には、応募できるものに対して応募していきたいと考えている。初年度に関しては助成金の獲得は難しいと考えているが、2年目以降については積極的に助成金等の獲得に努めていきたい。3点目の修繕業務の内製化について、当社は元々ビルメンテナンスを本業としたケイミックスから分社化した会社であることから当然建物管理の資格を持つ者もいる。しかしながら、基本的には修繕業務は我々の会社や関係会社で行うのではなく、地域還元として市内事業者に依頼したいと思っている。地域の事業者の方がトラブル時も素早く対応いただけると思う。

委員：3点伺う。1点目として、産業文化センターの指定管理者に応募した理由について、産業文化センターの魅力等あれば教えていただきたい。2点目として、収支計画について指定管理料の上限額に対して年額で1,200万円以上下回っており、その理由としては人件費の削減、委託料の見直し等の説明があったが、この実現

の可能性について理由等をお伺いしたい。3点目として、良質な文化芸術にふれる機会を作ると説明があったが、具体的にどのようなものか、過去の実績等もあれば教えていただきたい。

応募者：1点目の応募の理由については、まずは入間市という地域の魅力である。都心へのアクセスが比較的良好な環境にある町の文化産業に関する施設であり、非常に地域的なポテンシャルが高いということが一つである。また、市民会館が閉鎖された状況の中で、文化芸術の活性化や市の文化力を維持し発展させていくという点において、私どもが役に立てるのではないかと考え応募した。2点目の収支計画の実現性については、現在80施設ほど文化施設の運営をしており、妥当な金額を積み上げた結果だと思っている。昨今一番リスクが高いのはコロナによる利用の差止めや自主事業中止であるが、現在コロナは収まり無くなりつつあると思う。もう一つ大きなものは光熱水費である。指定管理料の光熱水費は固定料金で、超えた場合は別途協議とされており、当社としてはリスクが低いと捉えている。平成18年から指定管理を行っているが赤字になったことはほとんどなく、途中で撤退等もないので安心して任せていただければと思う。3点目の良質な文化芸術について、特に事業計画書17ページの鑑賞事業に具体的な名前を挙げている。ホールのカパシティが427席と非常に小さいので、我々が管理している同規模の施設で言えば、反田恭平さんや、森山良子さん、世良正則さん等の実績がある。その都度、その時勢に合わせた方で、「公演のまとめ買い」の購買力によって他の管理運営する施設での実施に伴い、入間市でも実施をするという流れで考えており、もしかしたら少しびっくりするような方が偶然ブッキングできる可能性はあると思う。

委員：1点目の応募の理由について、市民会館が閉鎖している間に力を入れるという点については本当にありがたいと思った。2点目の収支計画の関係については、市の財政状況も厳しい中、しっかりと試算の上ご提示いただきありがたいと思った。3点目については、びっくりできるのを楽しみにしている。

委員：事業計画書のサービス向上の「物販・貸出サービス」について、「利用者ニーズの高いもの」とあり、資料の写真を見ると傘やマイク等があるが、他にどのようなものがあるか。

応募者：貸し出しについては、傘袋やポチ袋、会議室の備品系で足りないものがあれば用意したい。基本的には営利を求めるわけではなく、利用者サービスの一環として行うものである。実際に施設を運営していく中で利用者の声を聞きながらニーズがあれば、民間ならではのスピード感ですぐ準備をして対応したい。コロナ禍では、例えばマスクとかアルコールについても、来館者の分はもちろんのこと、会議室の利用者の分についても用意していた。状況に応じて対応をする。

委員：利用者の相談や、打ち合わせ等の対応についてお聞きしたい。

応募者：利用者からの相談については、事業計画書11ページに「市民の文化芸術活動に係る相談窓口」とあるが、例えば、これから文化芸術活動を始めたいという相談に応じたり、イベント等を開催したいがノウハウが十分でないというような方には当日に向けた準備の仕方や当日の運営ノウハウ等の相談に応じたりする。要望をお聞きしながら、良い実現方法を探っていくという相談窓口の提案である。

委員：3点伺う。1点目として、令和10年に閉館が予定されているが、この間の職員の対応について考えがあれば教えていただきたい。2点目として、マルチプレイヤーを育成しその分人件費を削減していくという説明があったが、他の施設でも同じようにマルチプレイヤーがいるかと思うが、働く側の負担の大きさが気になった。残業があればどのくらいかお伺いしたい。3点目として、館長以外は今後採用や異動してくるかと思うが、賃金の水準やパート職員の時給について教えていただきたい。

応募者：1点目の施設改修中の処遇については、詳細が決まる段階で市と協議すると思うが、異動可能な人については、近隣の施設もいくつかあるので異動で対応したいと思う。市の負担もなるべくかからないような形で、ただ我々としても職員を採用しているのでその点についてはご配慮いただけたらありがたい。2点目の残業については、働き方改革の中で、勤務時間をリアルタイムに全社で見られるようになっており、各事業所を統括する各支店長に対しては、人事部から「45時間を超えている」等の警告が出る。基本は10時間を超えないようにという会社の方針があるが、自主事業が重なっていたり収録対応をしたりで超えてしまう場合もある。ただ、それが法定法令上問題ない範囲となるよう、人事部の方でもチェックを入れており、応援職員を出してその職員の残業を減らす努力をする対応をしている。3点目の賃金水準については、埼玉県内の他施設の管理運営もしており、妥当な金額としていると思っている。当然パート職員については最低賃金を下回ることがないように設定しており、職員は館長以外に決まっていないが、既存の職員で当社に入社を希望される方がいれば適切に面接等をした上で対応したいと思っている。不足する場合は新規採用と人事異動により経験者をなるべく配置し、スムーズな運営、そして、さらなる賑わいをもたらしたいという考えである。

委員：賃金水準はどれくらいか。

応募者：時給については1,150円～1,200円程度を見込んでいる。また、勤務時間が20時間以上の場合は社会保険の対応をする。賃金水準は30万円半ばから一番低い担当者でも25万円程度であり、これに加えて全ての職員に対して賞与も出る。また、交通費や、残業代10時間程度を見込んでいる。

委員長：御社については、基本的に指定管理は文化施設や市民ホール等を専門にしているという前提でよいか。

応募者：文化施設の運営を専門とする会社として分社化した。一部、生涯学習施設や図書

室があるが、基本的には文化施設が専門である。

委員長：文化事業企画室があるのも特徴の一つだと思うが、文化施設が専門ということで、他社との違い等、強みを教えていただきたい。

応募者：文化施設に特化しているためノウハウは負けないと思っている。一社単独でほとんどの施設をやっているのだから、文化施設で行う、運営、貸し出しや自主事業等を全て一社でできるノウハウがある。一社単独でできるためスピーディーであり、JV（合弁企業）と比べてコスト面での強みもあると思う。また、東京本社文化事業企画室に10名在籍している。これらの職員は専門性を持ち色々なプロモーターや事務所とのネットワークがあり、各事業所の事業を担当する職員と提案した事業を確実に実施する。事業の進捗のチェックや、アドバイス、本番当日の応援等、体制の強みがあると捉えている。

委員長：文化事業企画室に色々な分野で詳しい職員がいるということだが、他の指定管理者と比べると、文化、芸術及び音楽関係等に御社ならではのパイプがあるということか。

応募者：他社においてもそのような職員はいると思うが、他社から引き継ぐ際に何うのは、あまり本社と関わらずに事業所に任されており、事業所にいる職員によって品質が変わるということである。我々はそれに対して本社と支店が積極的に支援し関わることから、品質を保つ努力もしている点が他社と違う点であると思う。

③

応募書類を基に入間市産業文化センターに関する提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった。

委員：市民会館の閉鎖に伴い産業文化センターで代替事業を色々開催していただいているが、元々産業文化センターは稼働率の高い施設である。特にホール事業について一般の利用者に迷惑をかけないような工夫等があればご説明いただきたい。また、[]の委嘱について説明があったが、具体的にどのような方を考えているのか教えていただきたい。最後に、公的資金の活用について説明があったが、令和元年度以降に獲得した助成金額や助成金獲得のノウハウ、苦労等があればご説明をお願いしたい。

応募者：1点目の市民への迷惑がかからないような工夫についてだが、市民会館のホールを使用していた主催者は、産業文化センターのホールを希望する方が多い。その上で、[]が市民会館の事業を実施するため、特に土日祝日の日程調整については、従来よりも格段に難しくなっている。そのため、できる限り迷惑のかからない工夫として、具体的には、ホールを使用する市民会館の代替事業の多くが地域と連携した事業であり、[]など主に市民団体の発表の場を提供するというものとしている。また、[]は一般の使用申請後に空いている平日を使用することとしている。さらに自主事業については、準備、

リハーサル及び本番で2日間必要となる場合でも、開演時間の調整等により1日で実施できるよう交渉している。2点目の[]については、文化施設の事業企画や運営等の経験・知識が豊富な方を考えている。また、産業文化センターに関わる事業等に精通または経験豊富な方を委嘱したいと考えている。その上で、助言指導を受けて、事業企画を検討していきたい。3点目の助成金については、令和元年度以降に[]が[]で交付を受けた助成金は、5件で約530万円である。その他、助成金ではないが、例えばオーケストラなどの公演料を負担していただき安価に実施した事業が2件ある。助成金については、申請時及び事業実施完了時の書類作成が非常に複雑で分量も多く、それぞれの助成事業で作成するポイントも異なるということから書類作成には一番苦労しているが、長年の実績があることからノウハウは蓄積している。加えて地域に密着した活動をして展開している公益財団法人という利点を理解していただけることや交付金を取り扱う際に求められるルール、チェック体制等を遵守しているということを理解していただいている点が多く助成金の獲得に繋がったと考えている。令和6年度の助成事業としては既に宝くじ文化公演、ソニー音楽財団に申請をしている。民間の協賛金については、本格的に取り組み始めたのが今年度からだが、地元企業を中心に協力依頼しており、具体的な成果としては[]との連携による協賛金が挙げられる。公益財団法人としての信頼もあり、[]の提案に対してどの企業にも耳を傾けていただいている。また事業計画書において、「[](仮称)」等の民間協賛金を活用する事業を提案しているが、これら事業の実績を積み上げることで、協賛金の協力企業をさらに増やせると考える。

委員：[]について、具体的にこの方をお願いする等の目星は付いているか。

応募者：具体的には、[]が候補として挙がっているところである。

委員：2点伺う。1点目として、ボランティア会が現在活動をリスタートしたところだと思うが、改めてボランティア会の目的や役割について、[]との関係性も含めて伺いたい。2点目として、これまで産業文化センターの管理運営をしていただいたが、改めてその実績を踏まえて、次の5年間で何を最も重視して取り組んでいきたいと考えているか伺いたい。

応募者：[]のボランティア会は令和元年の12月頃立ち上げたものの、コロナの流行で休止し、コロナの5類移行に伴い令和5年4月に再スタートした。[]のボランティア組織であるため、活動内容としては産業文化センターのみならず体育施設もある。施設にどのような仕事があるかを踏まえ、希望する方々にアンケートを取って携わっていただくこととなる。産業文化センターに限ると、自主事業

の公演時の客席案内を主体的に実施している。また、例えば植栽の管理等に興味を示すボランティアの方もいて、令和5年度も検討しているところである。ボランティアの方と■■■■の職員が一緒になって動き、仕事に携わることの喜びを感じていただき、「自分の施設」という気持ちになっていただくというようなコンセプトで運営していきたいと思っている。2点目の今後の指定管理5年間で重視することについては、新たなサービス向上策と、新規事業の実施である。新たなサービス向上策の具体策としては、セット券やチケットのインターネット予約システムの導入である。新たな自主事業については、市民会館の閉鎖に伴う代替事業を実施していくことを含め、■■■■の委嘱や、産業文化センター開館40周年記念事業、各種教室事業、落語ワークショップ、サロンコンサート等を実施していく。また、市の施策への貢献としてSDGs講演会や、市民団体の発表の場の提供という文化施設の役割を担う事業、「■■■■ (仮称)」といった新しいプロジェクトを始めていきたい。

委員：2点伺う。1点目として、今年度の収支予算書の「■■■■」で、おそらく自主事業の収入として95万4千円計上されているが、来年度の収支計画書の自主事業収入は300万円と大きく増加している。なぜ来年度は3倍近くの収入が見込めるのか理由をお伺いしたい。2点目として、指定管理料の上限額ちょうどで計上されているが、どのような検討をしてこの提案に至ったのか、例えば削減する要因がなかったのか等について教えていただきたい。

応募者：1点目の自主事業収入の予算額の違いは、指定管理料で実施する事業であり元額が今回約3倍になったことから、規模の大きい事業も実施できると考え300万円の収入で積算した。これは■■■■の自主事業とはまた別の事業である。2点目の指定管理料の上限額で提案した理由としては、現状、適正な管理運営を行うためにぎりぎりの水準であり、今後、物価や人件費等が想定以上に上がる可能性もあるためである。仮に、残額が発生した場合には自主事業の原資とし、市民に還元をしたいと考える。見通しの立たないウクライナ情勢、円安、原油高、最低賃金の上昇率や人件費の高騰、光熱水費や消耗品等の高騰等により積算は困難を極めたが、責任を持って指定管理者として管理運営をしていきたい。

委員：令和6年度以降の収支計画書と令和5年度の収支予算書や令和4年度決算書を比較しての質問である。令和4年度の人件費決算額は当初予算額よりも減額しているのに対して、人件費予算額を増額しているのはなぜか。

応募者：令和6年度の人件費予算については、最低賃金の上昇率が非常に高いことを勘案して積算している。また、令和4年度の決算については、市職員OBに嘱託職員として来ていただいており65歳までが基本的な雇用継続だが、66歳以上であってもやる気や能力が高い場合は月額給料を若干下げて勤務していただいている。

令和5年度予算は、正職員の配置で積算しているため差異が出ている。

委員：利用者に対するサービスの向上についてお聞きしたい。

応募者：セット券の導入、チケットのインターネット予約システムの導入等により利用者のサービスの向上を図っていききたい。また施設の貸し出しについては、安全安心な施設の提供として、例えば、経年劣化等により施設設備が故障する可能性もあるが、可能な限り迅速に施設設備の復旧に取り組むとともに、故障等が起きないように予防保全をし、利用者の施設利用の妨げとならないよう努めたい。

委員：3点伺う。1点目として、令和10年度に改修で閉館が予定されているが、その間の職員の対応についてお聞きしたい。2点目として、事業計画書70ページに人員配置やシフトの記載があるが、パート職員は常時3、4名いるということか。また、土日の配置人数が多いのは理解するが、木金の配置人数が多い特殊な事情があればお伺いしたい。3点目として、就業規則について育児休業に関する記載がなく、就業規則の中に「別に定める」等の記載もない。別に規定はあるのかお伺いしたい。

応募者：1点目の令和10年度の休館時の職員の対応については現在詳細が不明である。今後地域振興課と調整をしていく考えだが、職員の雇用については維持していききたい。2点目の配置人数については、基本的には常時3名の配置としている。木金の配置人数が多いことについては特段の理由があるものではなく、一つのシフトの配置イメージとして作成したものである。3点目の育児休業の関係について、別の規定は設けていないが、上位法を適用して運用していききたい。

委員：育児休業については法的に就業規則に入れる必要があることから入れていただき
こと
ことから今回入っていないことに気づき質問をした。

委員長：2点伺う。1点目として、XXXXXXXXXX、地元の財団法人としての強みをPRしていただきたい。2点目として、プレゼン資料の7～10ページで、全国規模で指定管理業務を展開する企業が県内にも進出している流れへの対抗として、プロジェクトチームを立ち上げ4つの観点から意欲的な取り組みを計画したとある。これらの取り組みが民間企業に対抗するためにどのように効果的だと考えるのか改めてお伺いしたい。

応募者：1点目の地元の財団法人という強みとしては、地元、市民、企業との連携である。近隣市を含め、市内の業者や市民との連携はこれまでずっと行っていることであり、一番の強みである。2点目の意欲的な取り組みについては、地元の財団法人として公の施設を管理運営するXXXXXXXXXXとしては、他市あるいは県外から指定管理者に応募してくる企業には絶対勝っていかなければならないと思う。も90%以上が入間市民であり雇用を確保していくということも我々に課せられた使命であると考え提案した。

委員長：4つの取り組みについて、逆に言えば民間企業でもできないものではないと思われるが、この4つの取り組みが効果的だと思えるような背景があれば教えていただきたい。

応募者：確かに民間企業もできる内容にはなるが、実行していくにあたって■■■■は入間市と同じ考えに立って運営ができる組織であると考えている。また、入間市のことをよく知っており、例えば市の後期基本計画の目標の達成に資するよう市と同じスタンスで動けるとするのが強みだと考える。また企業協賛についても、市内の法人と色々と普段から勉強していることから■■■■に信頼を置いていただいているなど、実行に移す部分に■■■■に強みがあると考えている。

(2) 委員からの講評

委員長：応募資料および本日のプレゼンテーションを受け、各委員から意見、感想があればお願いしたい。なお、あくまでも採点は各委員の自己判断が大前提となるが、専門的な見地から述べておきたいことや、相互確認しておいたほうが良いことなどがあれば述べていただきたい。

委員：甲乙つけがたく自主事業も類似のものもあり悩ましい。人件費はケイミックスが抑えられている。シフトも人員配置も3社ともあまり変わらないので悩むところである。■■■■、魅せるプレゼンという点で少し足りない気がしたり、最後の委員長の質問に対してあまり説得力がなかった気もしたりした。これから精査したい。

委員：質問だが、産業文化センターの利用率が高いという話があったが、実際に高いのか。どういった事業が多いのか。

委員：産業文化センターの稼働率はコロナ禍前で7割以上、ホールは平日あまり入っていないが土日はほぼ何か事業が入っているという状況で、新しい講座や講演会を開催したくてもなかなか空いてないのが現状である。集会室、和室や学習室についても市民会館から利用者が流れてくるため取りづらい状況である。

委員：自主事業をたくさん提案しているのは良いことだと思っていたが、実際の状況を聞くとどのくらい実施できるのかと疑問に思った。■■■■に人件費予算の関係で質問をしたが、予算の立て方について少し疑問に思う点があった。■■■■とケイミックスは提案の仕方が上手で甲乙つけがたく感じた。実際に採点してみて点数の配分等を見つつ考えたい。

委員：40年以上産業文化センターを利用してきて、今後に期待をしている。今回3社の候補者が出て非常に厳しい選定になると感じた。

委員：3つの応募者に対して稼働率が高い中での自主事業実施について同様の質問をした。ケイミックスが提案した平日の昼間のコンサート実施等については経験のなせる技だと思った。助成金について、ケイミックスが1億数千万円というのは全施設を対象としているのだと思うが、参考に聞いた■■■■とは開きはあるのかなと

思った。1施設500万円が高いのか低いのかはわからないものの結構頑張っているのかなと感じた。■■■■■について、千人規模のホールであれば太刀打ちできないが400人規模なら力を発揮できるという点も良い気がした。■■■■■は施設を熟知しており老朽化している部分もよくわかっているの、施設管理としてはお願いしやすい部分はあるかと感じた。

委員：三者三様で評価に差をつけるのは難しい。基本方針、平等利用、個人情報保護等あまり差がつかない。自主事業や広報、収支計画等で違いが出て、結果として差がつくのだと感じた。プレゼンでは見えてこない部分もあったが、■■■■■は実績も考慮した方が良いと感じた。

委員：■■■■■は■■■■■をしていたので、その辺りの強みをもっと言って欲しかった。プレゼンでは逆に強みはあるのかなと思ってしまうような感じでその点が残念だった。指定管理料一つをとっても■■■■■に民間の2社のプレゼンを聞いて欲しいと感じた。■■■■■が指定管理料の上限額でぎりぎりであると言う一方、民間の2社は実績を元に積算した結果、余裕があり絶対にできると言っている。基本方針や法令遵守、情報公開等ではやはり差はつかないので、人の配置や経費的な部分で差がつくことになると感じた。

委員長：今回の3社の評価については悩まなければならない。産業文化センターは市民活動が活発な施設であり、■■■■■はこれまで築いてきたネットワークや各種団体のとの繋がりがあがる。これを外部の民間会社がいよいよ引き継げるのかという不安感はある。財政的な面で言うと、民間の方が安い指定管理料を提示していることから魅力的ではある。特にケイミックスは文化施設を専門にしているだけあり、■■■■■と比較してもより専門性を感じる点は魅力的だと感じた。何を重視するかによって点数の配分の仕方が変わってくると思う。自分でもまだどのような順位になるかはわからないが悩んで評価をしたい。

(3) 地域振興課からの意見・感想

委員長：所管課としての意見、感想があればお願いしたい。

所管課：産業文化センターについては、第三者評価、市民アンケート、モニタリングにおいても高い評価を得ていることを現地説明会でも説明した。募集要項にも基本方針を記載しているが、3社とも各社の基本理念や基本方針にこれを取り入れ展開していることがプレゼンの中でよくわかった。我々が求めている民間ならではの知恵や知識を生かした質の高いサービスや提案の部分については、期待以上のものはあまり感じなかった。

委員：どんなことを期待していたのか。

所管課：事前情報によりケイミックスのプレゼンについて非常に期待していたが、個人の感覚では思ったほどすごいというイメージではなかった。

7 その他

審査票の提出と次回の日程について

10月6日（金）までに審査票をデジタル行政推進課に提出していただきたい。次回の第10回の選定委員会を10月16日（月）に開催する。

以 上